

2018年5月23日

インターネットバンキング専用投資信託

「たわらノーロード」インデックスファンドシリーズの取扱いを開始

株式会社千葉興業銀行（頭取 青柳 俊一）は、多様化するお客さまニーズにお応えするため、2018年5月28日（月）より、インターネットバンキング専用投資信託として「たわらノーロード」インデックスファンドシリーズ13ファンドの取扱いを開始いたします。また、お取扱い開始に伴い、本シリーズに対応したロボ・アドバイザー「CAPTAIN One」を導入いたします。

記

【お取扱いを開始する「たわらノーロード」インデックスファンドシリーズ】

※いずれもインターネットバンキング専用商品としてのお取扱いとなります。

投資対象	ファンド名	運用会社
国内債券	たわらノーロード 国内債券	アセットマネジメント One 株式会社
海外債券	たわらノーロード 先進国債券<為替ヘッジあり>	
	たわらノーロード 先進国債券	
国内株式	たわらノーロード 日経225	
	たわらノーロード TOPIX	
海外株式	たわらノーロード 先進国株式<為替ヘッジあり>	
	たわらノーロード 先進国株式	
	たわらノーロード NYダウ	
	たわらノーロード 新興国株式	
国内リート	たわらノーロード 国内リート	
海外リート	たわらノーロード 先進国リート<為替ヘッジあり>	
	たわらノーロード 先進国リート	
バランス	たわらノーロード バランス（8資産均等型）	

【「たわらノーロード」インデックスファンドシリーズの主な特徴】

1. 充実したラインナップ

国内および先進国の株式、債券、リートの主要6資産と新興国株式の単一の資産に投資するファンド、および8資産（国内株式、国内債券、先進国株式、先進国債券、新興国株式、新興国債券、国内リート、先進国リート）に均等に投資するバランス型ファンドの、合計13ファンドからなるインデックスシリーズです。

2. シンプルでわかりやすいインデックス運用

インデックス運用は、各市場を代表する指数の値動きに連動する運用成果をめざす運用手法で、商品性がシンプルで基準価額の値動きがわかりやすいことが特徴です。

3. 低コストの運用

当シリーズ13ファンドはすべて、お申込手数料がかからないノーロードファンドであり、保有期間中のコスト（信託報酬）も低く抑えられています。

【ロボ・アドバイザー「CAPTAIN One」について】

アセットマネジメント One 株式会社が提供するロボ・アドバイザー「CAPTAIN One」を当行ホームページに掲載いたします。「CAPTAIN One」は、インターネット上で7つの簡単な質問にお答えいただくことで、「たわらノーロード」インデックスシリーズの中から、お客さまのリスク許容度に応じた資産配分やお客さまのご意向に沿うと考えられるファンドをご提示するサービスです。取扱開始日以降、当行ホームページ「投資信託ページ」内、「たわらノーロード」インデックスシリーズ後案内ページよりご利用ください。

ちば興銀では今後もお客さまニーズに幅広くお応えできるよう商品ラインナップの見直しを行い、ご満足いただけるよう努めてまいります。

※投資信託ご購入の際は、契約締結前交付書面、投資信託説明書（交付目論見書）の内容をよくお読みいただき、ファンドの内容を充分にご理解のうえ、お申込みください。

【投資信託に関するご注意事項】

●投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。●当行でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。●当行ではご購入、ご売却のお申込について取扱いを行っております。投資信託の設定および運用は各運用会社が行ないます。●投資信託は投資元本が保証されている商品ではありません。また、過去の運用実績は、将来の運用結果を約束するものではありません。●投資信託の運用による利益および損失は、投資信託をご購入いただきましたお客さまに帰属します。●投資信託の基準価額は、組入れ有価証券(株式・債券等)等の値動きにより変動しますので、お受取金額が投資元本を下回る場合があります。●組入れ有価証券(株式・債券等)等の価格は、株式指標、金利、その有価証券等の発行者の信用状態の変化等や取引が十分な流動性の下で行えない(流動性リスク)等を原因とした値動きにより変動します。●外貨建て資産に投資するものは、この他に通貨の価格変動(為替変動リスク)により基準価額が変動しますので、お受取金額が投資元本を下回る場合があります。●投資信託のお申込にあたっては、当行所定のお申込手数料(最大 3.24%〔税込み〕)がかかるほか、一部のファンドは換金時に信託財産留保額(最大で基準価額の 0.5%)がかかります。また、保有期間中には信託報酬(実質最大 2.376%〔税込み〕程度)がかかるほか、組入れ有価証券の売買委託手数料や監査報酬等のその他の費用(運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません)がかかります。なお、当該手数料の合計額については、お客さまがファンドを保有される期間等により異なりますので、表示することができません。また、上記の費用等については 2018 年 5 月 1 日現在のものであり、今後変更となる場合もございます。くわしくは、各ファンドの契約締結前交付書面、投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。●投資信託をご購入の際は、契約締結前交付書面、投資信託説明書(交付目論見書)の内容をよくお読みいただき、ファンドの内容を十分にご理解のうえお申込ください。

商号等：株式会社 千葉興業銀行
登録金融機関：関東財務局長（登金）第40号
加入協会名：日本証券業協会

